

届出

[平成22年度設置]

計画の区分：研究科の設置

注1

東京医療保健大学大学院 看護学研究科 (M)

注2

【届出】設置に係る設置計画履行状況報告書

学校法人 青葉学園
平成22年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 東が丘看護学部等事務部

職名・氏名	部長	木原英三
	係長	上原朝美

電話番号 03-5779-5031

(夜間) 03-5779-5031

F A X 03-5431-1481

e-mail higashigaoka-po@thcu.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は届出時の基本計画書の「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

届出時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には届出時の旧名称を記載いただき、その下欄に()書きにて、現在の名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部

(□□学部)

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

・学部の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部」

・学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科」

・短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 〇〇学科」

・大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」

・通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 〇〇学部 〇〇学科(通信教育課程)」

「留意事項実施状況報告書」の場合は、表題を修正してください。

目 次

1	調査対象大学等の概要等	1
2	授業科目の概要	4
3	施設・設備の整備状況, 経費	8
4	既設大学等の状況	9
5	教員組織の状況	10
6	留意事項に対する履行状況等	16
7	その他全般的事項	17
	資料1	21
	資料2	35

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人 青葉学園

(2) 大学名

東京医療保健大学大学院

(3) 大学の位置

〒152-8558

東京都目黒区東が丘二丁目5番23号（東京都品川区東五反田四丁目1番17号）

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を（ ）書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	届出時	変更状況	備考
理事長	タムラ テツオ 田村 哲夫		
学長	コバヤシ ヒロヨシ 小林 寛伊		
研究科長	クサマ トモコ 草間 朋子		
研究科長 代行		ミヤザキ フミコ 宮崎 文子 (平成22年4月)	草間朋子教授は、都合により平成22年4月から平成24年3月まで非常勤であり、平成24年4月から専任として就任することから、宮崎文子教授を研究科長代行とし、管理運営の万全を期している。(22)

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を（ ）書きで記入してください。

(例) 平成19年度に報告済の内容 → (19)

平成22年度に報告する内容 → (22)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて見え消し修正するとともに、上記と同様に「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。

(5) 調査対象研究科等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください。
 ・ 様式は、平成20年度開設の博士後期課程の場合(平成22年度までの3年間)ですが、開設年度・修業年限に合わせて作成してください。(修業年限が2年以下の場合には欄を削除し、4年以上の場合には、欄を設けてください。)

(5) -① 調査対象研究科等の名称、定員

調査対象研究科等の名称(学位)	設置時の計画			備考
	修業年限	入学定員	収容定員	
看護学研究科 看護学専攻 修士(看護学)	年 2	人 20	人 40	基礎となる学部等 東が丘看護学部

- (注) ・ 「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前的人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。

(5) -② 調査対象研究科等の入学者の状況

区分	報告年度	平成22年度	平成23年度	平均入学定員超過率	備考
		人	人	倍	
A 入学定員	(-) 20	(-) 20	(-) 20	1.05	
志願者数	(-) 21	(-) 21	(-) 21		
受験者数	(-) 21	(-) 21	(-) 21		
合格者数	(-) 21	(-) 21	(-) 21		
B 入学者数	(-) 21	(-) 21	(-) 21		
入学定員超過率 B/A	(-) 1.05	(-) 1.05	(-) 1.05		

- (注) ・ ()内には、社会人の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 「社会人」については、届出書において貴学が定める社会人の定義に従って記入してください。
 ・ 「平均入学定員超過率」には、開設年度から提出年度までの入学定員超過率の平均を記入してください。入学定員超過率については、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入し、平均入学定員超過率も同様の方法としてください。
 ・ 「平成22年度」には、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。
 ・ 「平成20~21年度」には、確定した数値を記入してください。

(5) -③ 調査対象研究科等の在学者の状況

学年	報告年度	平成22年度	平成23年度	備考
1年次	[-] 21	[-] 21	[-] 21	
2年次	/	[-] 21	[-] 21	
計	[-] 21	[-] 21	[-] 21	

- (注) ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年には「-」を記入してください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)により、我が国の大学(大学院を含む)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。
 ・ 各年度の5月1日現在の状況を記入してください。

(5) - ④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	退学者数 (a)	入学者数 (b)	入学者に対する 退学者数の割合 (a/b)
平成22年度	計 [0] 0人	(累積)計 [0] 21人	[0%] 0%
	うち平成22年度入学者 0人	うち平成22年度 21人	
	(主な退学理由)		
平成23年度	計 []	(累積)計 []	[%] %
	うち平成22年度入学者 人	うち平成22年度 人	
	うち平成23年度入学者 人	うち平成23年度 人	
	(主な退学理由)		

(注)・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。

- ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
- ・「入学者数に対する退学者数の割合」は、各対象年度における退学者数を開設年度から当該年度までの入学者（累積）で除した割合（%）を記入してください。その際、小数点以下第2位を四捨五入し、小数点以下第1位までを記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に、その人数も含めて記入してください。
 - ・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
 - ・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他
- ・「平成22年度」については5月1日現在の状況を記入してください。
- ・「平成19～21年度」には、確定した数値を記入してください。

2 授業科目の概要

<看護学研究科 看護学専攻>

(1) 授業科目表

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					備 考	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
スキルミックスに対応した看護実践能力	診察・診断学特論（画像診断学）	1前	2			1	2 1					兼5 兼1 専任教員の変更、また授業内容の充実を図るため、専任教員及び非常勤講師の追加（22） 担当 今井秀樹（教授）から松山友子（教授）に変更 穴沢小百合（准教授）追加 兼任 尾藤誠司、大島久二、菊野隆明、樺山幸彦を追加
	フィジカルアセスメント演習	1前	2			1	1					兼5 兼1 授業内容の充実を図るため、非常勤講師を追加（22） 兼任 鄭 東孝、鈴木 亮、菊野隆明、矢野尊啓を追加
	インフォームドコンセント特論（看護コンサルテーション論）	2前 1前	2			1	1					兼2 系統別の授業配分の見直しにより、配当年次を変更（22）
	クリティカルケア特論	1前	2				1 2	1				兼7 兼2 専任教員の変更に伴う変更及び授業内容の充実を図るため、非常勤講師を追加（22） 担当 草間朋子（教授）は、専任から兼任へ変更及び見藤 隆子（教授）を専任へ 浅野妙子（教授）から石川倫子（准教授）へ変更 兼任 吉岡早戸、小井土雄一、一二三亭、小笠原智子を追加
	チーム医療とスキルミックス	1前	2			1			1			兼8 兼2 授業内容の充実を図るため、専任教員追加、非常勤講師の変更及び追加（22） 担当 小宇田智子（講師） 兼任 小林佳郎から齊藤真一郎、神谷しげみ、眞 隆一、加藤浩之、濱也智子、田沼明子、福長暖奈を変更及び追加
	検査におけるスキルミックス実践	1後	2			1						兼1 専任教員及び非常勤講師の変更（22） 担当 小村三千代（教授）から宮崎文子（教授）へ変更 兼任 倉持茂から大島久二へ変更
	検査におけるスキルミックス実践演習	1後 2前	1			1						兼1 系統別の授業配分の見直しにより、配当年次を変更、また専任教員及び非常勤講師の変更（22） 担当 小村三千代（教授）から粟屋典子（教授）へ変更 兼任 倉持茂から大島久二へ変更
	診断におけるスキルミックス実践	1後	2			1	1					兼1 専任教員の変更、また授業内容の充実を図るため、専任教員及び非常勤講師の追加（22）
	診断におけるスキルミックス実践演習	1後 2前	1			1	1					兼1 系統別の授業配分の見直しにより、配当年次を変更（22）
	治療法におけるスキルミックス実践	1後	2			1	1					兼4 兼2 専任教員の変更に伴う変更及び授業内容の充実を図るため、非常勤講師を追加（22） 担当 草間朋子（教授）は、専任から兼任へ変更及び栗屋典子（教授）を専任へ 兼任 菊野隆明を追加

スキルミックスに対応した看護実践能力	治療方法におけるスキルミックス実践演習	1後 -2前	1			1	1			兼4 兼2-	系統別の授業配分の見直しにより、配当年次を変更、また専任教員の変更に伴う変更及び授業内容の充実を図るため、非常勤講師を追加(22) 担当 草間朋子(教授)は、専任から兼任へ変更及び粟屋典子(教授)を専任へ兼任 菊野隆明を追加(22)
	スキルミックス統合実習	2前 -2通	4			1	1			兼4 兼1	系統別の授業配分の見直しにより、配当時期を変更、また専任教員の変更に伴う変更及び授業内容の充実を図るため、非常勤講師を追加(22) 担当 草間朋子(教授)は、専任から兼任へ変更及び粟屋典子(教授)を専任へ 穴沢小百合(准教授)、古都昌子(准教授)を追加 兼任 菊野隆明、浅野妙子を追加
ナレッジマネジメント能力	研究の進め方	1前	2			2	1	1		兼1 兼2-	非常勤講師の尾藤誠司、岩田敏から専任教員の小宇田智子(講師)及び草間朋子へ変更(22)
	ナレッジマネジメント	1前	2			5 -3	3 -2			兼6 兼2-	専任教員の変更及び授業内容の充実を図るため、専任教員及び非常勤講師を追加(22) 担当 浅野妙子(教授)は、専任から兼任へ変更 小村三千代(教授)は、粟屋典子(教授)、宮崎文子(教授)、今井秀樹(教授)、清水洋子(教授)へ変更及び追加 古都昌子(准教授)から石川倫子(准教授)、穴沢小百合(准教授)へ変更及び追加 兼任 高里良男から矢野尊啓、尾藤誠司、磯部義憲、小林圭郎へ変更及び追加
	課題研究演習	2通	2			2	1			兼6 兼2-	専任教員の変更及び授業内容の充実を図るため、専任教員及び非常勤講師を追加(22) 担当 草間朋子(教授)から、今井秀樹(教授)、宮崎文子(教授)、粟屋典子(教授)、松山友子(教授)へ変更及び追加 石川倫子(准教授)、田中留伊(准教授)を追加 兼任 大島久二、磯部義憲、小林佳郎、浅野妙子を追加
	課題研究実習	2前 -2通	2			2	1			兼6 兼2-	系統別の授業配分の見直しにより、配当時期を変更、また専任教員の変更及び授業内容の充実を図るため、専任教員及び非常勤講師を追加(22) 担当 草間朋子(教授)から、宮崎文子(教授)、粟屋典子(教授)、松山友子(教授)、清水洋子(教授)へ変更及び追加 石川倫子(准教授)、田中留伊(准教授)を追加 兼任 松本純夫から、大島久二、尾藤誠司、磯部義憲、小林佳郎、浅野妙子を追加
トップマネジメント能力	学習援助論	1後		2		1	1			兼1	
	保健医療福祉システム論	1後		2		1	2	1		兼1	授業内容の充実を図るため、専任教員を追加(22) 担当 小宇田智子(講師)
	病院経営論	1後		2		2 -1				兼3 兼2-	専任教員の変更及び授業内容の充実を図るため、専任教員を追加、また草間朋子(教授)は専任から兼任へ変更(22) 担当 見藤隆子(教授)、粟屋典子(教授)に変更及び追加

トップマネジメント能力	政策医療特論	1前	2			1	1			兼1
	看護マネジメント実習 (医療安全学実習含む)	1後	2			1 -2	1			兼1 専任教員及び非常勤講師の変更、 草間朋子(教授)は専任から兼任へ 変更、また浅野妙子(教授)から 粟屋典子(教授)、穴沢小百合(准 教授)へ変更(22)
医療ネットワーク推進能力	政策医療ネットワーク演習Ⅰ	1後	2			1	1	1		兼2 授業内容の充実を図るため、専任教 員を追加(22) 担当 小宇田智子(講師)
	政策医療ネットワーク演習Ⅱ	2前	2			1	1	1		兼2 授業内容の充実を図るため、専任教 員を追加(22) 担当 小宇田智子(講師)
倫理的 意思 決定 能力	専門職と看護倫理	1前 1後	2			1	1			兼1 系統別の授業配分の見直しにより、 配当時期を変更(22)

- (注) ・届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
・届出時の授業科目全て(兼任、兼担教員が担当する科目を含む。)を黒字で記載いただき、届出時より変更されているものは赤字で見え消し修正いただき、「備考」に赤字で理由・変更年月等を記入してください。
・「配当年次」について、届出時に開講時期を記載する必要がなかった学部等(平成19年度届出以前)についても、届出時の状況を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。

(2) 授業科目数

届出時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計	必修	選択	自由	計	
科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	科目	
21	3	0	24	21	3	0	24	
				[0]	[0]	[0]	[0]	

- (注) ・未開講である場合や、配当年次に関わらず、教育課程上の授業科目数を記入する(資格に関する課程など、別課程としている授業科目については算入する必要はありません。)とともに、[]内に、届出時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由，代替措置の有無
1	インフォームドコンセント特論（看護コンサルテーション論）	2	1前	専門	必修	系統別の授業配分の見直しにより、配当年次を2年次前期へ変更
2						
3						

- (注)・届出時の計画にあった授業科目が配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
 ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については、記入しないでください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由，代替措置の有無
1	なし					
2						
3						

- (注)・届出時の計画にあった授業科目を何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

「インフォームドコンセント特論（看護コンサルテーション論）」は、系統別の授業配分の見直しを行った結果、各スキルミックスの授業を行った後、開講するほうがより理解力が増し効果的であると判断したため、配当年次を2年次前期へ変更することとした。なお、学生には入学時ガイダンスで説明を行い周知した。

- (注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

(6) 「届出時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目と廃止科目の計}}{\text{届出時の計画の授業科目数の計}} = \boxed{0.00}$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点第2位までを記入してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	運動場は、本学医療保健 学部と共用 市川運動場 (約30Km 約1時間20分) 桜グラウンド (約6.5Km 約40分) 校地借用増(22) 届出研究科 借用面積 5,960㎡ 8,098㎡ (H22. 4. 1からH24. 3. 31) 5,305㎡ (H24. 4. 1からH24. 3. 31)			
	校舎敷地	12,573 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	12,573 ㎡				
	運動場用地	10,503 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	10,503 ㎡				
	小 計	23,076 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	23,076 ㎡				
	そ の 他	814 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	814 ㎡				
	合 計	23,890 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	23,890 ㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	校舎借用増(22) 届出研究科 借用面積 4,821㎡ 7,986㎡ (H22. 4. 1からH24. 3. 31) 7,455㎡ (H24. 4. 1からH74. 3. 31)			
		20,167 -19,263 ㎡ (㎡)	0 ㎡ (㎡)	0 ㎡ (㎡)	20,167 -19,263 ㎡ (㎡)				
(3) 教 室 等	講 義 室		演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設	大学全体 改修等に伴う増(22)		
		30 -29 室	17 -15 室	16 室	5 室 (補助職員 1人)	0 室 (補助職員 一人)			
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称			室 数					
	看護学研究科 看護学専攻			29 室					
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等 の名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本	電子ジャーナルは、附 属世田谷図書館で集中 管理	
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書] 点					
	看護学研究科 看護学専攻	6,700 [540] (2,500 [200])	80 [15] (30 [5])	1,050 [0] (1,050 [0])	270 (100)	3,061 (2,781)	95 (95)		
	計	6,700 [540] (2,500 [200])	80 [15] (30 [5])	1,050 [0] (1,050 [0])	270 (100)	3,061 (2,781)	95 (95)		
(6) 図 書 館	面 積		閲 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数			大学全体	
	1,070 ㎡		217		70,000				
(7) 体 育 館	面 積		体育館以外のスポーツ施設の概要				大学全体		
	2,241 ㎡		市川運動場		桜グラウンド (多目的屋外運動場)				
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	大学全体
		教員1人当り研究費等	400千円	400千円	図書購入費	49,300千円	35,000千円	35,000千円	
	共同研究費等	4,000千円	4,000千円	設備購入費	117,199千円	26,000千円	25,000千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,504.5千円	1,004.5千円	一千円	一千円	一千円	一千円		
学生納付金以外の維持方法の概要			私立大学経常経費補助金						

(注) ・届出時の計画を設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。

- ・「(3) 教室等」「(5) 図書・設備」等について、届出時に数値を記載する必要がなかった学部等(平成20年度届出以前)については、届出時の数値の記載は不要ですが、平成22年5月1日現在の数値を赤字で記入してください。届出時に数値を記載した学部等(平成21年度届出以降)については、届出時の数値を黒字で記載いただき、平成22年5月1日現在の状況を赤字で見え消し修正してください。
- ・運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
- ・「(5) 図書・設備」については、上段に完成年度の予定の数値を、下段には平成22年5月1日現在の数値を記入してください。
- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(22)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、黒字で記入してください。

4 既設大学等の状況

大学の名称	東京医療保健大学							備考
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開年度	所在地
	年	人	年次人	人		倍		
医療保健学部								
看護学科	4	100	—	400	学士 (看護学)	1.19	平成17年度	五反田キャンパス 東京都品川区 東五反田4-1-17
医療栄養学科	4	100	—	400	学士 (栄養学)	1.09	平成17年度	世田谷キャンパス 東京都世田谷区 世田谷3-11-3
医療情報学科	4	80	—	320	学士 (医療情報学)	0.90	平成17年度	
東が丘看護学部								
看護学科	4	100	—	400	学士 (看護学)	1.04	平成22年度	国立病院機構キャンパス 東京都目黒区 東が丘2-5-23
大学院								
医療保健学研究科								
医療保健学専攻 (修士課程)	2	20	—	40	修士 (看護マネジメント学) (感染制御学) (医療栄養学) (医療保健情報学)	1.17	平成19年度	五反田キャンパス 東京都品川区 東五反田4-1-17
医療保健学専攻 (博士課程)	3	4	—	12	博士 (感染制御学)	1.25	平成21年度	五反田キャンパス 東京都品川区 東五反田4-1-17

(注) ・本調査の対象となっている大学等の設置者(学校法人等)が、既に設置している全ての大学の学部、学部の学科、短期大学の学科及び高等専門学校等の学科について、大学、短期大学又は高等専門学校ごとに、平成22年5月1日現在の状況を記入してください。

(専攻科に係るものについては、記入する必要はありません。)

- ・設置届出書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。
- ・「定員超過率」には、過去標準修業年限に相当する期間における入学定員に対する入学者の割合の平均の小数点第2位まで(小数点第3位を切り捨て)を、学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)単位で記入してください。なお、学生募集停止を行った学科(短期大学において専攻課程を設置している場合には、専攻課程)の記載は不要です。
- ・学生募集を停止している学部等がある場合、入学定員と収容定員は「—」とし、「備考」に「平成〇年より学生募集停止」と記入してください。

5 教員組織の状況

<看護学研究科 看護学専攻>

(1) 担当教員表

届出時の計画					変更状況					備考	
専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名(年齢)	就任予定年月	担当授業科目名		
専	教授	草間 朋子	平成22年4月	治療方法におけるスキルミックス実践 治療方法におけるスキルミックス実践演習 スキルミックス統合実習 病院経営論 クリティカルケア特論 看護マネジメント実習(医療安全学実習含む) 課題研究演習 課題研究実習	兼任	教授 (非常勤)	草間 朋子	平成22年4月	治療方法におけるスキルミックス実践 治療方法におけるスキルミックス実践演習 スキルミックス統合実習 病院経営論 クリティカルケア特論 看護マネジメント実習(医療安全学実習含む) 研究のすすめ方	都合により、草間朋子教授は平成22年4月から平成24年3月まで兼任として授業の一部を担当する。平成24年4月から専任教員として就任する予定である。(22)	
				治療方法におけるスキルミックス実践 治療方法におけるスキルミックス実践演習 検査におけるスキルミックス実践演習 スキルミックス統合実習 病院経営論 看護マネジメント実習(医療安全学実習含む) 課題研究演習 課題研究実習	専	教授	栗屋 典子	平成22年4月	治療方法におけるスキルミックス実践 治療方法におけるスキルミックス実践演習 検査におけるスキルミックス実践演習 スキルミックス統合実習 病院経営論 看護マネジメント実習(医療安全学実習含む) 課題研究演習 課題研究実習		草間朋子教授が兼任となったため、専任教員の補充(22)
				クリティカルケア特論 病院経営論	専	教授	見藤 隆子	平成22年4月	クリティカルケア特論 病院経営論		
専	教授	松山 友子	平成22年4月	フィジカルアセスメント演習 学習援助論 政策医療特論 ナレッジマネジメント					フィジカルアセスメント演習 学習援助論 政策医療特論 ナレッジマネジメント 診断・診断学特論(画像診断学) 課題研究演習 課題研究実習	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)	
専	教授	小村 三千代	平成22年4月	検査におけるスキルミックス実践	専	教授	宮崎 文子	平成22年4月	検査におけるスキルミックス実践	都合により、小村三千代教授の就任は平成23年4月に変更。(22)	
				検査におけるスキルミックス実践演習	専	教授	栗屋 典子	平成22年4月	検査におけるスキルミックス実践演習		
				ナレッジマネジメント	専	教授	宮崎 文子	平成22年4月	ナレッジマネジメント		
専	教授	清水 洋子	平成22年4月	チーム医療とスキルミックス 課題研究演習				チーム医療とスキルミックス 課題研究演習 ナレッジマネジメント 課題研究実習	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)		
専	教授	宮崎 文子	平成22年4月	インフォームドコンセント特論(看護コンサルテーション論) 診断におけるスキルミックス実践 診断におけるスキルミックス実践演習 専門職と看護倫理 研究の進め方				インフォームドコンセント特論(看護コンサルテーション論) 診断におけるスキルミックス実践 診断におけるスキルミックス実践演習 専門職と看護倫理 研究の進め方 検査におけるスキルミックス実践 ナレッジマネジメント 課題研究演習 課題研究実習	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)		

専	教授	今井 秀樹	平成22年4月	診察・診断学特論（画像診断学）	専	教授	松山 友子	平成22年4月	診察・診断学特論（画像診断学）	松山教授に変更(22)			
				保健医療福祉システム論 政策医療ネットワーク演習Ⅰ 政策医療ネットワーク演習Ⅱ 研究の進め方 課題研究実習				保健医療福祉システム論 政策医療ネットワーク演習Ⅰ 政策医療ネットワーク演習Ⅱ 研究の進め方 課題研究実習 ナレッジマネジメント 課題研究演習	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)				
専	教授	浅野 妙子	平成22年4月	クリティカルケア特論	専	准教授	石川 倫子	平成22年4月	クリティカルケア特論	都合により、浅野妙子教授の就任は平成23年4月に変更。(22)			
				看護マネジメント実習（医療安全学実習含む）	専	准教授	穴沢 小百合	平成22年4月	看護マネジメント実習（医療安全学実習含む）				
				ナレッジマネジメント	兼任	教授 (非常勤)	浅野 妙子	平成22年4月	ナレッジマネジメント	平成22年度は、非常勤として担当科目の一部を担当。(22)			
					専	教授	浅野 妙子	平成23年4月	スキルミックス統合実習 課題研究演習 課題研究実習	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)			
専	准教授	古都 昌子	平成22年4月	インフォームドコンセント特論（看護コンサルテーション論） 治療法におけるスキルミックス実践 治療法におけるスキルミックス実践演習 学習援助論 政策医療特論 専門職と看護倫理					インフォームドコンセント特論（看護コンサルテーション論） 治療法におけるスキルミックス実践 治療法におけるスキルミックス実践演習 学習援助論 政策医療特論 専門職と看護倫理	石川准教授、穴沢准教授に変更(22)			
				ナレッジマネジメント					専		准教授	石川 倫子	平成22年4月
									専	准教授	穴沢 小百合	平成22年4月	ナレッジマネジメント
													スキルミックス統合実習
専	准教授	金子 あけみ	平成22年4月	保健医療福祉システム論 政策医療ネットワーク演習Ⅰ 政策医療ネットワーク演習Ⅱ									
専	准教授	穴沢 小百合	平成22年4月	フィジカルアセスメント演習 診断におけるスキルミックス実践 診断におけるスキルミックス実践演習 課題研究演習 課題研究実習				フィジカルアセスメント演習 診断におけるスキルミックス実践 診断におけるスキルミックス実践演習 課題研究演習 課題研究実習 診察・診断学特論（画像診断学） スキルミックス統合実習 ナレッジマネジメント 看護マネジメント実習（医療安全学実習含む）	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)				
専	准教授	田中 留伊	平成22年4月	保健医療福祉システム論 ナレッジマネジメント				保健医療福祉システム論 ナレッジマネジメント 課題研究演習 課題研究実習	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)				
専	准教授	石川 倫子	平成22年4月	診察・診断学特論（画像診断学） スキルミックス統合実習 研究の進め方				診察・診断学特論（画像診断学） スキルミックス統合実習 研究の進め方 クリティカルケア特論 ナレッジマネジメント 課題研究演習 課題研究実習	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)				

								チーム医療とスキルミックス 研究の進め方 保健医療福祉システム論 政策医療ネットワーク演習Ⅰ 政策医療ネットワーク演習Ⅱ	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)	
兼任	講師	磯部 義憲	平成22年4月	診察・診断学特論（画像診断学）				診察・診断学特論（画像診断学） ナレッジマネジメント 課題研究演習 課題研究実習	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)	
兼任	講師	尾藤 誠司	平成22年4月	フィジカルアセスメント演習				フィジカルアセスメント演習		
				研究の進め方	兼任	教授 (非常勤)	草間 朋子	平成22年4月	研究の進め方	草間教授（非常勤）に変更(22)
				課題研究演習 保健医療福祉システム論					課題研究演習 保健医療福祉システム論	
				看護マネジメント実習 (医療安全学実習含む)	専	准教授	穴沢 小百合	平成22年4月	看護マネジメント実習 (医療安全学実習含む)	穴沢准教授に変更(22)
				政策医療ネットワーク演習Ⅰ 政策医療ネットワーク演習Ⅱ				政策医療ネットワーク演習Ⅰ 政策医療ネットワーク演習Ⅱ 診察・診断学特論（画像診断学） ナレッジマネジメント 課題研究実習	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)	
兼任	講師	小林 佳郎	平成22年4月	インフォームドコンセント特論（看護コンサルテーション論）				インフォームドコンセント特論（看護コンサルテーション論）		
				チーム医療とスキルミックス 治療法におけるスキルミックス実践 治療法におけるスキルミックス実践演習	専	講師	小宇田 智子	平成22年4月	チーム医療とスキルミックス 治療法におけるスキルミックス実践 治療法におけるスキルミックス実践演習 ナレッジマネジメント 課題研究演習 課題研究実習	小宇田講師に変更(22) 授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)
兼任	講師	大島 久二	平成22年4月	インフォームドコンセント特論（看護コンサルテーション論）				インフォームドコンセント特論（看護コンサルテーション論）		
				ナレッジマネジメント					診察・診断学特論（画像診断学） 検査におけるスキルミックス実践 検査におけるスキルミックス実践演習 課題研究演習 課題研究実習	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22) 倉持講師から変更(22) 授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)
兼任	講師	高里 良男	平成22年4月	クリティカルケア特論				クリティカルケア特論		
				ナレッジマネジメント	兼任	講師	尾藤 誠司	平成22年4月	ナレッジマネジメント	尾藤講師、磯部講師、矢野講師、小林講師に変更(22)
					兼任	講師	磯部 義憲	平成22年4月	ナレッジマネジメント	
					兼任	講師	矢野 尊啓	平成22年4月	ナレッジマネジメント	
	兼任	講師	小林 佳郎	平成22年4月	ナレッジマネジメント					
兼任	講師	林 茂樹	平成22年4月	クリティカルケア特論 病院経営論						
兼任	講師	矢野 尊啓	平成22年4月	チーム医療とスキルミックス 課題研究演習 課題研究実習 学習援助論 専門職と看護倫理				チーム医療とスキルミックス 課題研究演習 課題研究実習 学習援助論 専門職と看護倫理 フィジカルアセスメント演習 ナレッジマネジメント	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)	

兼任	講師	倉持 茂	平成22年10月	検査におけるスキルミックス実践 検査におけるスキルミックス実践演習	兼任	講師	大島 久二	平成22年4月	検査におけるスキルミックス実践 検査におけるスキルミックス実践演習	健康不良のため、就任辞退(22) 大島講師に変更(22)
兼任	講師	岩田 敏	平成22年4月	診断におけるスキルミックス実践 診断におけるスキルミックス実践演習 研究の進め方					診断におけるスキルミックス実践 診断におけるスキルミックス実践演習 研究の進め方	小宇田講師に変更(22)
兼任	講師	中島 由槻	平成22年10月	治療方法におけるスキルミックス実践 治療方法におけるスキルミックス実践演習 政策医療ネットワーク演習Ⅱ						
兼任	講師	松本 純夫	平成22年4月	スキルミックス統合実習 課題研究実習 病院経営論 政策医療特論	兼任	講師	尾藤 誠司	平成22年4月	課題研究実習	尾藤講師、大島講師、磯部講師、小林講師、浅野教授(非常勤)に変更(22)
					兼任	講師	大島 久二	平成22年4月	課題研究実習	
					兼任	講師	磯部 義憲	平成22年4月	課題研究実習	
					兼任	講師	小林 佳郎	平成22年4月	課題研究実習	
					兼任	教授 (非常勤)	浅野 妙子	平成22年4月	課題研究実習	
兼任	講師	川井 充	平成22年10月	政策医療ネットワーク演習Ⅰ					病院経営論 政策医療特論	
					兼任	講師	菊野 隆明	平成22年4月	診察・診断学特論(画像診断学) フィジカルアセスメント演習 治療方法におけるスキルミックス実践 治療方法におけるスキルミックス実践演習 スキルミックス統合実習	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)
					兼任	講師	縦山 幸彦	平成22年4月	診察・診断学特論(画像診断学)	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)
					兼任	講師	鄭 東孝	平成22年4月	フィジカルアセスメント演習	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)
					兼任	講師	鈴木 亮	平成22年4月	フィジカルアセスメント演習	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)
					兼任	講師	小井土 雄一	平成22年4月	クリティカルケア特論	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)
					兼任	講師	吉岡 早戸	平成22年4月	クリティカルケア特論	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)
					兼任	講師	小笠原 智子	平成22年4月	クリティカルケア特論	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)
					兼任	講師	一二三 亨	平成22年4月	クリティカルケア特論	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)
					兼任	講師	齊藤 真一郎	平成22年4月	チーム医療とスキルミックス	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)
					兼任	講師	神谷 しげみ	平成22年4月	チーム医療とスキルミックス	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)
					兼任	講師	眞 隆一	平成22年4月	チーム医療とスキルミックス	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)
					兼任	講師	加藤 浩之	平成22年4月	チーム医療とスキルミックス	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)
					兼任	講師	濱也 智子	平成22年4月	チーム医療とスキルミックス	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)

					兼任 講師	田沼 明子	平成22年4月	チーム医療とスキルミックス	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)
					兼任 講師	福永 暖奈	平成22年4月	チーム医療とスキルミックス	授業内容の充実を図るため、担当科目の一部を担当。(22)

(注) ・設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。

なお、当該設置に係る学部、学科等に所属しない教員であって、全学共通、学部共通などの授業科目を担当する教員組織に所属している場合は、〈表題〉を「共通」とし、表を分けて作成してください。

- ・後任が決まっていない場合には、「後任未定」と記入してください。
- ・辞任者は「備考」に退職年月、氏名、理由を記入してください。
- ・年齢は、就任年度に関わりなく、「届出時の計画」には開設時現在の満年齢を、「変更状況」には平成22年5月1日現在の満年齢を記入してください。
- ・教員を学年進行中に変更した又は変更する予定の場合(「新規採用」、「担当授業科目の変更」又は「昇格」をいう。)は、変更後の状況を記入するとともに、その理由、後任者が決まっていない場合は、「変更状況」の「氏名」に「後任未定」と記入し、及び今後の採用計画を「備考」に記入してください。

(2) 専任教員数

届出時の計画						変更状況						備考
教授	准教授	講師	助教	計	助手	教授	准教授	講師	助教	計	助手	
7	5	0	0	12	0	6	5	1	0	12	0	
(6)	(5)	(1)	(0)	(12)	(0)	[△1]	[0]	[+1]	[0]	[0]	[0]	

(注) ・「届出時の計画」には、届出時に予定されていた完成時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入し、「変更状況」には、平成22年5月1日現在(就任予定の者を含む)の状況を記入するとともに、[]内に届出時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(3) 専任教員辞任等の理由

番 号	職 位	専任教員氏名	辞任（就任辞退を含む）等の理由
1			
2			
3			

(注)・届出時の計画からの専任教員の辞任等の理由について、可能な限り具体的に記入してください。

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

--

(注)・上記(3)の教員の辞任等による学生の履修等への影響に関する「大学の所見」及び「学生への周知方法」を記入してください。

6 留意事項に対する履行状況等

区 分	留 意 事 項	履 行 状 況	未履行事項について の実施計画
設置計画履行状況 調 査 時	該当なし		

- (注) ・ 「設置計画履行状況調査時」には、当該設置計画履行状況調査の結果、付された留意事項に対する履行状況等について、具体的に記入するとともに、その履行状況等を裏付ける資料を添付してください。
- ・ 入学定員超過に係る留意事項への履行状況については、指摘を受けた学科等についてのみ記入してください。
 - ・ 該当がない場合には、「該当なし」と記入してください。

7 その他全般的事項

<看護学研究科 看護学専攻>

(1) 設置計画変更事項等

届出時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 施設・設備</p> <p>校地 借用面積5,960㎡ (H22.4.1からH24.3.31)</p> <p>校舎 借用面積4,821㎡ (H22.4.1からH24.3.31)</p>	<p>① 国立病院機構から借用する校地校舎の拡充に伴い、学生の修学環境を改善するため整備計画の一部変更を行った。</p> <p>校地 借用面積5,960㎡から8,098㎡に増 (H22.4.1からH24.3.31)</p> <p>校舎 借用面積4,821㎡から7,986㎡に増 (H22.4.1からH24.3.31)</p> <p>(添付資料1) 「校舎等建物の配置図」、「配置図」、「東が丘看護学部等校舎主要室リスト」、「校舎等建物平面図」、「東京医療保健大学東が丘看護学部等校舎主要室リスト 新旧対照表」 参照</p>

- (注) ・ 1～6の項目により記入した事項以外で、届出時の計画より変更のあったもの(未実施を含む。)及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。
- ・ 設置届出書の「設置の趣旨等を記載した書類」の項目に沿って作成し、それ以外の事柄については適宜項目を設けてください。(記入例参照)

(2) 教員の資質の維持向上の方策 (FD活動含む)

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況</p> <p>教員の資質の維持向上を図るため、FD委員会(学長を委員長、学長補佐1名、各学科等教員5名、大学経営会議室長、事務局長、企画部長、教務部長 計11名をもって構成)を設置している。</p> <p>・ FD委員会規程(添付資料2)</p> <p>b 委員会の開催状況(教員の参加状況含む)</p> <p>平成21年度における委員会の開催状況は次のとおり。</p> <p>第1回 平成21年 7月15日(水) 委員11名全員出席。</p> <p>第2回 平成21年10月14日(水) 同上。</p> <p>第3回 平成21年10月28日(水) 同上。</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 授業内容・方法の改善を図ること。 ・ 教員個人々の教育力・研究力の維持向上を図ること。 ・ 大学運営に対する意識の啓発や学生支援のあり方等に関する研修会等を実施し大学教員としての専門的な能力を高めること。
--

② 実施状況

a 実施内容

- ・教育力の向上等を図るための東京医療保健大学を語る会の実施。
- ・各学科等における教員活動報告会の実施。

b 実施方法

- ・平成21年度においては、教職員(大学院担当教員、非常勤教員を含む)を対象として「東京医療保健大学を語る会」を実施した。
- ・語る会では、「教育力の向上を目指して」の大テーマのもと、「自ら学ぶ学習」、「学科を越えた交流・学習」及び「英語教育の充実」の各テーマについて、どのような工夫・改善を行っているか、3学科及び大学院担当教員から各1名(計4名)の教員が発表を行うとともに、課題等は何かなど多面的かつ多角的に議論・意見交換を行っており、各教員にとって授業内容・方法の改善に資するものとなった。

c 開催状況(教員の参加状況含む)

- ・平成21年度の「東京医療保健大学を語る会」(21.10.28(水)17:30~19:00)における教職員の参加状況。
参加者数66名、参加率53.2%(21.10.1現在専任教員84名、専任職員40名 計124名 $66/124 \times 100 = 53.2\%$)。
終了後のアンケート実施状況、41名から回答あり。回収率62.1%($41/66 \times 100 = 62.1\%$)。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

- ・「東京医療保健大学を語る会」における「教育力の向上を目指して」に関する議論・意見交換を踏まえ、各教員が授業内容・方法の改善充実を図ることとしている。

(注)・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。
「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。(記入例参照)

(3) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

- ・本学学則第4条(注)に則り、本学全体の教育研究水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、自己点検・評価委員会(委員長は学長)を設置している。

(注)第4条 本学は、教育研究水準の向上を図り、その目的及び社会的使命を達成するため、教育及び研究、組織及び運営並びに施設及び設備の状況について、自ら点検及び評価を行い、その結果を公表する。

- 2 本学に自己点検・評価を行うため、東京医療保健大学自己点検・評価委員会を独立した特別委員会として設置する。
- 3 自己点検・評価に関する事項は別に定める。

- ・自己点検・評価委員会においては、本学の建学の精神及び教育目標・教育目的を具現化するために、教育研究活動に必要な組織・制度と諸条件を整備し、その機能を十分発揮できるよう本学の教育研究に関する活動状況並びに組織、施設・設備、運営状況等について、自己点検・評価を実施するとともに、所要の改善を図ることとしている。
- ・本学においては、平成20年度に開学後初となる自己点検・評価を実施し、その結果を報告書としてまとめ、ウェブサイト公表したが、平成21年度においても自己点検・評価を実施し、公表を行っている。
- ・なお、平成23年度には、大学基準協会による大学評価(認証評価)を受審することとしているが、これにより教育研究水準の維持向上及び質の保証に努めるとともに社会に対する説明責任を果たすこととしている。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・平成21年11月 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書については、本学の大学経営会議及び理事会・評議員会において審議・承認を経た後、ウェブサイト上に公開するとともに、報告書の印刷物を文部科学省、私学事業団、大学基準協会等関係機関に配布している。

③ 認証評価を受ける計画

・平成23年度に財団法人大学基準協会の認証評価を受審予定。

(注) ・ 届出時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(4) 情報提供に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書

- a ホームページに公表の有無 (有 ・ 無)
- b 公表予定時期 (平成22年 6月 30日)
- c 文部科学省ホームページから、貴学ホームページの「設置計画履行状況報告書」掲載ページへのリンク
(承諾する ・ 承諾しない)
- d 上記で「承諾する」を選んだ場合、そのリンク先のアドレス
(<http://www.thcu.ac.jp>)

(注) ・ 「c」において「承諾する」場合、文部科学省のホームページにてリンク先を掲載しますので、大学等のトップページではなく直接リンクする先を「d」に記入してください。
なお、「d」のリンク先のアドレスが未定の場合は、決まり次第、文部科学省高等教育局大学設置室あてに、メールにてご報告ください。

※大学設置室メールアドレス : d-secchi@mext.go.jp

件名は「【調査係あて】AC報告書等HPリンク先(〇〇大学)」としてください。

配置図

都市計画道路

マストライフA-F
(リース宿舎)

東が丘看護学部
看護学研究科
4F
5F
2F

東が丘看護学部
看護学研究科
10F

凡例

- 平成22年4月から使用
- 平成24年4月から使用

S=1/2100

東京医療保健大学 FD 委員会規程

(設置)

第1条 東京医療保健大学の教職員の資質の維持向上を図るため、FD委員会(以下「委員会」という。)を設置する。

(任務)

第2条 委員会は、授業内容・方法の改善を図るとともに、教員個々人の教育力・研究力の維持向上を図る。さらに、大学運営に対する意識の啓発や学生支援のあり方等に関する研修会等を実施し大学教員としての専門的な能力を高めることを目的とする。

(構成)

第3条 委員会は、次の者をもって構成する。

- (1) 大学経営会議で任命する専任教員
- (2) 大学経営会議室長
- (3) 事務局長
- (4) 教務部長
- (5) 企画部長

(審議事項)

第4条 委員会は次の事項を審議立案する。

- (1) 授業内容・方法の改善
- (2) 研究推進体制の整備
- (3) 各種研修会、研究会の実施
- (4) 外部研究費の導入の推進
- (5) 職員研修会等の実施
- (6) その他FDに関する事項

(委員長)

第5条 委員会に委員長を置き、大学経営会議にて任命する。

(事務)

第6条 委員会に関する事務は、企画部が行う。

附 則 この規程は、平成17年4月1日より施行する。
この規程は、平成18年2月15日より施行する。